

平成20年度 南丹市事業評価表 (平成19年度 実施事業)

事業CD. 8359 事業名: かやぶき屋根保存修理事業
 細事業名: _____

政策体系上の位置付け (参考) 平成20年度～ 総合振興計画実施事業

政 策: 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る
 基本施策: 1 豊かな緑と清流を守る
 主な施策: (6) 森・里・街の景観保全

所管部署名
 部局名: 教育委員会
 課 名: 社会教育課

科目CD. 1100505 作成日 平成20年10月17日

事業分類: B:ソフト事業
 新規事業 時限事業 (平成 年度迄)

実施根拠 (法令、条例等)
南丹市かやぶき屋根保存事業補助金交付要綱

事業運営方法 直営 一部委託 全部委託 補助等

委 託 先 民間 三セク NPO 学校 自治会・地縁団体
 その他 ()

事業概要	
◆ 課題・目的 (どのような課題を解決するために実施した事業なのか) 美山町内の北山型住宅の保存と美しい町並みの集落景観を守る	
◆ 活動内容 (具体的にどのような活動を行ったのか) かやぶき屋根の葺き替え修理に対する補助金を交付した。	
◆ 対 象 (この事業を実施するにあたり、ターゲットとした者(物)は何か) かやぶき屋根所有者(旧美山町管内)	
◆ 結 果 (この事業を実施したことにより、どのような効果または結果が得られたのか) 美しい町並みと集落景観が保全できる。	

指 標		単 位	18実績	19実績	20予算	21計画
活 動 指 標	① 交付件数			精 査 途 中		
	②					
	③					
	④					
	⑤					
対 象 指 標	① 修理件数			精 査 途 中		
	②					
	③					
成 果 指 標	① 北山型住宅の保存件数			精 査 途 中		
	②					
	③					

市民や議会等からの要望・意見 (要望や意見の内容とその内容を確認した手段は何か)
 当該事業の継続

近隣市町村や民間企業での同種事業の実施状況
 近隣では同種の事業はない

決算(予算)額	(千円)	9,243	7,079	10,000	10,000	
財源内訳	使用料・手数料等	(千円)	7,000	3,000	3,000	3,000
	国・府支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,243	4,079	7,000	7,000
職員従事時間	(人)		0.12			
人件費 ※	(千円)		763			
トータルコスト ※	(千円)		7,842			

※人件費は、職員の給与・諸手当・共済などから、一定の基準に基づき算定したおおよその額です。
 ※人件費およびトータルコストは、あくまでも参考値です。

【公共性の評価】

- (1) 行政の守備範囲 (民間や市以外の機関等が実施すべき事業ではなかったか)
- 法令等により定められた事業 市が実施すべき事業 行政内部の事業
- 民間等での実施は見込めない 民間等での実施も可能

説明: 景観保全を図る意味での事業である。

- (2) 事業選定の妥当性 (事業の目的や意図が政策や施策の目指す方向にあっているか)
- 施策等の実現に向けた事業 施策等の方向とマッチしていない

説明: 景観を守ることができる

- (3) 対象の妥当性 (事業の本質から考えて的を得た対象を定めているか)
- 本質に沿った対象である 的を得た対象となっていない

説明: 景観を守ることができた。

【有効性の評価】

- (4) 課題解決への有効度 (目的の達成や、課題解決のために有効的な事業か)
- かなり有効的 当初の予想どおり 予想しても有効的でなかった

説明: 計画に沿った修繕ができた。

- (5) 施策実現に対する有効度 (総合計画の施策実現に対して有効的な事業か)
- かなり有効的 当初の予想どおり 想定よりも有効的でなかった

説明: 景観保全ができた。

- (6) 成果向上の余地 (施策実現に向け更なる成果向上の余地はあるか)
- 大きい 小さい 無い

説明: 計画的な修繕が必要

- (7) 類似事業との統合・再編・連携の余地 (他の類似事業と統合や連携ができないか)
- 統合や連携等の検討可能 統合や連携はできない 類似事業がない

説明:

新たに生じた課題・解決できなかった課題等

計画的な改修

改革案 (いつ、どのような改革を、どのような手段で行うのか)

改修箇所の把握

【緊急性の評価】

- (8) 課題解決への緊急度 (なぜ早期に実施しなければならなかったか)
- 法令等により期限がある 他事業よりも効果が大い 早期の取り組みが必要
- 他事業よりも優先度が高い 市民の生命・財産を守るため 緊急性は低い

説明: 継続性が必要

【効率性の評価】

- (9) コスト削減の余地 (事業内容、職員労力、仕事の進め方などから)
- 削減の余地あり 削減の余地なし

説明:

- (10) 受益者負担の適正 (社会状況等から受益者の負担は適正か)
- 正当な受益者負担 見直す必要あり 負担を強いる事業ではない

説明: 補助要綱により定めがある。

【協働性の評価】

- (11) 市民との協働による事業実施 (協働による実施を検討したか)
- 協働事業には不向き 協働では実施していない 協働で行ったが主体は行政
- 協働で行ったが住民主体は一部 市民等が主体となって実施

説明:

- (12) 協働事業としての推進の余地 (今後、協働による推進できる余地はないか)
- 余地あり 余地なし

説明:

所 属 長 総 括 評 価

南丹市の観光の目玉として「かやぶき屋根」の集落群のウエートは非常に高い。これら保存されているかやぶき民家は現在も生活をされているが、後、15年先集落の維持そのものが危ぶまれる現状も考慮しながら根本的な地域再生のプランも必要と考える。保存事業については基金を有効活用して基金の続く間は継続すべきと考える。

※事務局使用欄

一次評価	継続 (現状維持)	文化資源として保存は必要。しかし、市となったので対象範囲、対象者について再考してはどうか。
二次評価	継続 (現状維持)	美山町内を限定し、また、基金を原資として一定期間事業実施できるため必要